

公 表

理容職種 第57回大会用 ※ は前回大会用資料の記述から変更しています。

第57回技能五輪全国大会「理容」職種 競技課題

1. 競技課題および時間

競技課題1	ファッショナヘアカット&カラー	140分
競技課題2	クラシカルバック バリエーションヘア	120分
競技課題3	<u>写真とトレンドポジションに合わせたパーマヘア</u>	160分
競技課題4	ストレートパーマ スタイルチェンジ (3つの要望)	120分

2. 競技の内容

選手は競技課題に沿ったスタイルを3体のマネキンで4種目すべて作成すること。

3. モデル

モデルは会場で配布の指定マネキンで、第3、4競技課題は同一のマネキン、第1、2競技課題は各1体別のマネキンを使用する。

マネキンは会場で配布し、選手持参のマネキンは使用できない。

各課題とも衣装、装飾品は装着できない。

4. 競技会場設備

選手一人あたりの作業面積は4m²とする。

電源のコンセントは選手一人につき1200ワットまでとする(二カ口)。

作業用テーブルと折りたたみ椅子を設置する。

5. 支給材料

メンズマネキン

No.212F (L) × 1個 (競技課題3・4で使用) : 株三矢

No.212F (L) プラチナブロンド × 1個 (競技課題1で使用) : 株三矢

No.503 × 1個 (競技課題2で使用) : 株三矢

カラーリング用2剤

レベル マテリアオキシ1000ml 6% × 1本 : タカラベルモント株

6. 競技日程

11月 15日 (金)	下見 (集合時間	11時00分	終了時間	12時30分)
11月 16日 (土)	競技 (集合時間	10時10分	終了時間	17時10分)
11月 17日 (日)	競技 (集合時間	9時30分	終了時間	17時10分)

7. 提供品(予定)

シャンプー

ユニフィット リセットシャンプー : クラシエホームプロダクツ販売株

コンディショナー

ユニフィット リペアコンディショナー : クラシエホームプロダクツ販売株

ブリーチ剤

レベル プラチナブリーチ : タカラベルモント株

公 表 理容職種 第 57 回大会用 ※ は前回大会用資料の記述から変更しています。

禁止事項

1. 指定以外のマネキンを使用すること。
2. 競技時間以外に競技を行うこと（薬剤の準備等含め、すべて競技時間内に行うこと）。
3. 競技時間以外にマネキンに触れること。
4. 競技に使用する器具、薬剤等を作業テーブル以外に置くこと。
5. 競技時間中に競技エリア外から器具、薬剤等を競技エリアに持ち込むこと。
6. 競技時間終了時に作業エリアの清掃が終了していないこと（片付けた器具、薬剤類は、競技時間中にトレイや袋等にまとめ、競技終了後、速やかに搬出すること）。
7. 審査を受ける際、作業エリアに不要なものがあること（エリア内は作業テーブル、クランプの付いたマネキンのみ。ゴミ袋等含めて審査前に処分すること）。
8. 競技エリアに、競技に必要な道具、薬剤以外を持ち込むこと（当該競技に使用しない道具類は、指定の場所に収納すること）。
9. 携帯電話等、外部との連絡を取るためのツールを会場内で使用すること。
10. 競技時間中に選手同士および外部と会話すること。
11. 競技時間中に用具、薬剤の貸し借りをすること。
12. 作業エリア以外で作業を行うこと。
13. マネキンにメイクや印をつけること。
14. 指定以外の電気器具を使用すること。
15. 国の基準に合わない薬剤、指定以外の薬剤を使用すること。
16. グローブを着用せず、化学薬品を使用する施術を行うこと。
17. 競技中に競技エリアから出ること（トイレに行く場合は競技・運営委員または補佐員に必ず申し出ること。またこれに要する時間は作業時間内とする）。
18. テープやラップ等によってマスキングすること。
19. 顔や首にパーマ剤が流れること。
20. シャンプー以外の施術をクランプに装着しないで行うこと。
21. 上記のほか、競技課題毎に定めた注意事項に抵触した場合は、重大な減点の対象となる。

選手の留意事項

1. 作業エリアに限らず、競技エリアの清掃および整理整頓は各自が責任を持って行うこと（髪などのゴミは所定の場所に片づけること）。
2. 清潔で作業のしやすい、理容師らしい作業衣を着用すること。
3. 競技課題は提示された通り、正確かつ丁寧で美しい作品を作業時間内で完成させること。
4. 作業は競技課題に従い確実に行うこと。
5. 質問等は挙手で合図し、競技委員の指示に従うこと。
6. マネキンは人間と同様に扱うこと（下に叩きつけるような行為等は禁止）。
7. その他、競技委員の指示に従い行動すること。

その他の事項

1. 支給のマネキンはすべて検品してあるので交換はできない。ただし、何か重大な問題が生じている場合のクレームは申し出ることができる。
2. 作業テーブル番号は選手受付時に抽選で決定する。
3. マネキンの首のキャップ前側にゼッケン番号のシールを必ず貼ること。
4. 電源、シャワー等のトラブルは近くの競技委員または補佐員に申し出ること。
5. 競技時間は理容職種競技会場内の時計で表示する。※競技終了時間はホワイトボードに表示
6. 終了前の時間の告知は運営委員によって行われる。
7. 紋創膏の準備等、各自ケガへの対策を講じること。

公 表

理容職種 第 57 回大会用 ※____は前回大会用資料の記述から変更しています。

競技課題 1 ファッションヘアカット&カラー

1. 競技時間

140分

2. 髮型

男性のファッショナブルなヘアであること。

奇妙でも革新的でもなく、時代性を取り入れたファッショナブルなスタイルであること。

(1) セット

アヴァンギャルドなスタイルではなく、ファッショナブルなスタイルであること。

セット用具、器具はすべて自由（電気器具は除く）。

(2) カラー

ファッショナブルなカラーであること。

技能五輪国際大会を意識し、外国人のファッショナルなカラーをイメージすること。

すべての毛髪に着色する必要がある。

※ウイービング、スライシング、グラデーションなどのカラーリングテクニックを用いること。

※薬液処理等のドライヤー加熱時は、ドライヤーボンネットを使用しても良い。ビニール袋の使用は不可。

※前処理剤、後処理剤、ダメージ軽減のためのトリートメント剤を使用（混合）してもよい。

(3) カット

長さは自由。クリッパーの使用は不可。ただし1mm以下のトリマーは可とする（アタッチメントの使用は不可）。

3. 使用できる電気器具

ハンドドライヤー、ヘアアイロン、トリマー

4. 整髪料

一切自由（ただし、カラースプレー、カラーパウダーおよびそれに類似するものは除く）。

5. 注意事項

①テープやラップ等によるマスキングは禁止（保護クリーム等は使用可）。

②マネキンは人として扱うため、ドライヤーボンネット等で顔全体を覆わないこと。

③薬液処理は、クランプに付けた状態で行うこと。

④パーマの施術時には必ずターバンを使用し、顔や首に薬液が流れないようにすること。

公 表 理容職種 第 57 回大会用 ※ は前回大会用資料の記述から変更しています。

5. 採点項目および配点

主観審査

審査項目	審査細目	配点	ウェート
カット・セット	カットと <u>セット</u> の全体的印象	10	3
カラー	カラーリングの全体的印象	10	3
トータルバランス	トータルバランス	10	4

客観審査

審 査 項 目	減 点
すべての毛髪に着色できていない 1割できていない=△1点 2割=△2点 3割以上=△3点	△1～3点
ウイービングやスライシングなどのテクニックを用いていない	△3点
カラーが皮膚（頭皮以外）に付着している 1箇所=△1点 2箇所=△2点 3箇所以上=△3点	△1～3点
刈り毛が付着している 顔に付着している=△1点 耳や襟に付着している=△1点	△1～2点
<u>競技終了時に作業エリアの清掃が終了していない</u>	<u>△1点</u>

不安全行動に対する減点

減 点 項 目	減 点
ケガへの対策（絆創膏の用意程度）が出来ていない	△1点
グローブを装着せずに化学薬品を使用する施術を行った	△1点

公 表

理容職種 第 57 回大会用 ※____は前回大会用資料の記述から変更しています。

競技課題2 クラシカルバック バリエーションヘア

1. 競技時間

120分

2. 髮 型

伝統的なクラシカルカットによるファッショニ性とデザイン性を備えたスタイルであること。

(1) カット

カットはクラシカルヘアカットであること。

ネックラインは男性的な美しいぼかしであること。

すべての鋏（すきバサミを含む）・レーザーを使用してもよい。

襟足とサイドは伝統的なテーパーをつけ、毛量を段階的に減らす。

クリッパーの使用は不可。

(2) カラー

カラーは3色以上とする。脱色・脱染のみは1色として換算しない。

※カラーリング2剤は支給材料（レベル マテリアオキシ6%）を使用すること。

※薬液処理等のドライヤー加熱時は、ドライヤーボンネットを使用しても良い。ビニール袋の使用は不可。

※前処理剤、後処理剤、ダメージ軽減のためのトリートメント剤を使用（混合）してもよい。

(3) セット

セット用具、器具は全て自由（電気器具は除く）。

フロントのデザインは自由とする。

3. 使用できる電気器具

ハンドドライヤー

4. 整髪料

一切自由（ただし、カラースプレー、カラー粉末およびそれに類似するものは除く）。

5. 注意事項

①テープやラップ等によるマスキングは禁止（保護クリーム等は使用可）。

②マネキンは人として扱うため、ドライヤーボンネット等で顔全体を覆わないこと。

③薬液処理は、クランプに付けた状態で行うこと。

④パーマの施術時には必ずターバンを使用し、顔や首に薬液が流れないようにすること。

公 表 理容職種 第 57 回大会用 ※____は前回大会用資料の記述から変更しています。

5. 採点項目および配点

主観審査

審査項目	審査細目	配点	ウェート
カット・セット	カットとセットの全体的印象	10	3
カラー	カラーリングの全体的印象	10	3
トータルバランス	トータルバランス	10	4

客観審査

審 査 項 目	減 点
カラーが皮膚（頭皮以外）に付着している 1箇所=△1点 2箇所=△2点 3箇所以上=△3点	△1～3点
ネックラインにシャープさがない ネックラインがゆがんでいる=△1点 ネックラインがついていない=△2点	△1～2点
後頭下部に色彩がない	△1点
刈り毛が付着している 顔に付着している=△1点 耳や襟に付着している=△1点	△1～2点
競技終了時に作業エリアの清掃が終了していない	△1点

不安全行動に対する減点

減 点 項 目	減 点
ケガへの対策（絆創膏の用意程度）が出来ていない	△1点
グローブを装着せずに化学薬品を使用する施術を行った	△1点

公 表

理容職種 第 57 回大会用 ※____は前回大会用資料の記述から変更しています。

競技課題3 写真とトレンドポジションに合わせたパーマヘア

1. 競技時間

160分（以下の時間区分で実施すること）

作成時間（パーマネントウェーブ、ヘアカット） 125分

インターバル 10分

フィンガーセット 25分

2. 写 真

主催者側があらかじめ用意した複数枚の写真から、競技当日、競技主査が無作為に1枚選択し、競技開始と同時に提示する。

3. トレンドポジション

8つのトレンドポジションの中から、競技当日、競技主査が無作為に1つ選択し、競技開始と同時に掲示する。

※トレンドポジション：エスニック、カントリー、アクティブ、マニッシュ、モダン、ソフィスティケート、エレガанс、ロマンチックの8つ

4. 髮 型

選手は写真を再現しつつ、トレンドポジションに合わせてニュアンスを変更すること。

写真は正面のみとし、その他は自由なデザインとする。

(1) パーマネントウェーブ

使用するパーマロッド数は、最大35本までとする（ピンパーマはその範囲ではない）。

薬液処理等のドライヤー加熱時は、ドライヤーボンネットを使用してもよい。ビニール袋の使用は不可。

※前処理剤、後処理剤、ダメージ軽減のためのトリートメント剤を使用（混合）してもよい。

(2) カット

クリッパーおよびトリマーの使用は不可。

カットは、パーマのワインディングの前後いつ行っても良い。

ただし、セット時間に入ってからのカット、トリミングは不可。

(3) セット

フィンガーセット 25分間

ハンドドライヤーのみ使用してフィンガーセットする。

※注意 セット中はハンドドライヤー以外のセット用具は使用禁止。

整髪料は使用しても良い。

4. インターバル

セットに入る前に10分間のインターバルを取り、必ずマネキンを水洗いする。

※注意 水洗い後のセット用具の使用は禁止。

公 表 理容職種 第 57 回大会用 ※____は前回大会用資料の記述から変更しています。

5. 使用できる電気器具

ハンドドライヤー

6. 整髪料

一切自由（ただし、カラースプレー、カラーパウダーおよびそれに類似するものは除く）。

7. 注意事項

- ①テープやラップ等によるマスキングは禁止（保護クリーム等は使用可）。
- ②マネキンは人として扱うため、ドライヤーボンネット等で顔全体を覆わないこと。
- ③薬液処理は、クランプに付けた状態で行い、必ずターバンを使用すること。
- ④パーマの施術時には必ずターバンを使用し、顔や首に薬液が流れないようにすること。

8. 採点項目および配点

主観審査

審査項目	審査細目	配点	ウェート
カット・セット	写真と同様のデザインがトレンドポジションに合わせてニュアンスチェンジできているか	10	3
パーマ	トレンドポジションに合わせた流れや動きが表現されているか	10	3
トータルバランス	トータルバランス	10	4

客観審査

審査項目	減点
ロッドの跡がついている パーマ部分の1/3についている=△1点 パーマ部分の2/3についている=△2点 パーマ部分のすべてについている=△3点	△1~3点
輪ゴムの跡がついている パーマ部分の1/3についている=△1点 パーマ部分の2/3についている=△2点 パーマ部分のすべてについている=△3点	△1~3点
刈り毛が付着している 顔に付着している=△1点 耳や襟に付着している=△1点	△1~2点
競技終了時に作業エリアの清掃が終了していない	△1点

不安全行動に対する減点

減点項目	減点
ケガへの対策（絆創膏の用意程度）が出来ていない	△1点
グローブを装着せずに化学薬品を使用する施術を行った	△1点

公 表

理容職種 第57回大会用 ※____は前回大会用資料の記述から変更しています。

競技課題4 ストレートパーマ スタイルチェンジ（3つの要望）

1. 競技時間

120分（以下の時間区分で実施すること）

ストレートパーマ 60分

ストレートパーマチェック

カット・セット 60分

2. 髮型

第3課題「写真とトレンドポジションに合わせたパーマヘア」で作成したマネキンを、お客さまからの3つの要望を叶えながらストレートヘアにスタイルチェンジする。お客さまの要望は、長さ、質感、スタイリングの3つの要素について、競技当日、競技主査が無作為に1つずつ選択し、競技開始と同時に提示する。

（要望例：長さ＝総体的に短め、質感＝柔らかい、スタイリング＝アップバング）

（1）パーマ

すべての髪にストレートパーマを施すこと（カット予定の髪も含めすべて）。

ストレートパーマは、カット・セット前に競技委員によって客観審査される。

ストレートパーマ時間中に1液、2液処理、リンシングを終わらせ、放射状にコーミングした状態でチェックを受けること。

※ストレートパーマチェック中、選手は競技エリアに入ることはできない。

（2）カット

要望に合わせたカットを行うこと。

器具は自由。

カットはストレートパーマチェックを受けた後、行うこと。

（3）セット

要望に合わせたセットを行うこと。

3. 使用できる電気器具

ハンドドライヤー、クリッパー、トリマー

4. 整髪料

一切自由（ただし、カラースプレー、カラーパウダーおよびそれに類似するものは除く）。

5. 注意事項

①テープやラップ等によるマスキングは禁止（保護クリーム等は使用可）。

②マネキンは人として扱うため、ドライヤーボンネット等で顔全体を覆わないこと。

③薬液処理は、クランプに付けた状態で行うこと。

④パーマの施術時には、顔や首に薬液が流れないようにすること。

公 表 理容職種 第 57 回大会用 ※____は前回大会用資料の記述から変更しています。

6. 採点項目および配点

主観審査

審査項目	審査細目	配点	ウェート
カット	要望に合わせたカットの全体的印象	10	3
セット	要望に合わせたセットの全体的印象	10	3
トータルバランス	トータルバランス	10	4

客観審査

審査項目	減点
ストレートパーマがかかっていない Jカール=△1点 Cカール=△2点 Sウェーブ=△3点	△1~3点
すべての髪にストレートパーマがかかっていない 1割できていない=△1点 2割=△2点 3割以上=△3点	△1~3点
刈り毛が付着している 顔に付着している=△1点 耳や襟に付着している=△1点	△1~2点
競技終了時に作業エリアの清掃が終了していない	△1点

不安全行動に対する減点

減点項目	減点
ケガへの対策（絆創膏の用意程度）が出来ていない	△1点
グローブを装着せずに化学薬品を使用する施術を行った	△1点